



公益社団法人 日本薬学会 生物系薬学部会主催

第23回 Pharmaco-Hematology シンポジウム  
—血液細胞の生体内ダイナミクスの理解と将来展望—

令和5年（2023年）7月13日（木）

千葉大学西千葉キャンパス けやき会館

実行委員長 千葉大学大学院薬学研究院 川島 博人

事務局長 千葉大学大学院薬学研究院 中司 寛子

共催：千葉大学

## ご挨拶

Pharmaco-Hematology (PH) シンポジウムは、日本薬学会生物系薬学部会主催のシンポジウムで、本年で第 23 回目となります。PH シンポジウムでは、薬学における血液学研究およびその関連領域の研究の発展を目指して、免疫、がん、血栓止血、代謝異常、感染症、炎症性疾患など薬学が関わる血液学(Hematology) 周辺領域の研究発表・討論を行っております。発表者は、若手教員・研究員のみならず大学院生や学部学生も多く、若手研究者の育成の場としても重要な役割を果たしております。

本年は、「血液細胞の生体内ダイナミクスの理解と将来展望」をテーマに、一般口頭発表に加え、シンポジウム「血液細胞の生体内ダイナミクスの理解と創薬への展望」および入村達郎先生による特別講演「糖鎖が関わる細胞ダイナミクスと疾患」を企画致しました。ファーマコ・ヘマトロジー分野の研究者が一堂に会し、最新の研究成果と将来展望を活発に議論し合う場を提供したいと考えております。

皆様にとって、実り多い 1 日となることを願っております。

第 23 回 Pharmaco-Hematology (PH) シンポジウム  
実行委員長 川島 博人



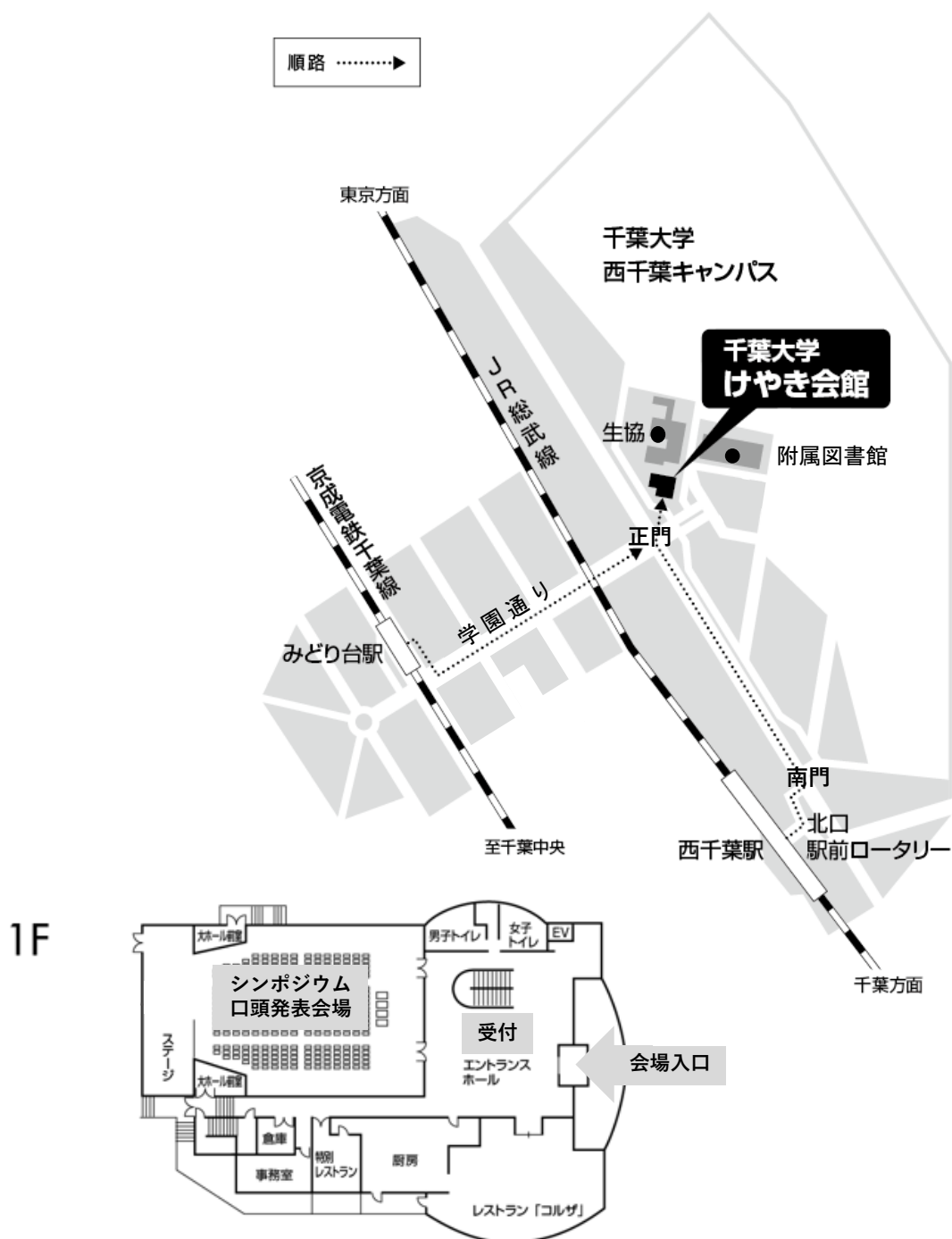
## 会場のご案内

千葉大学 西千葉キャンパス けやき会館 1階大ホール

所在地：千葉市稲毛区弥生 1-33

最寄駅：JR 西千葉駅（北口）南門を經由し徒歩約7分

京成電鉄みどり台駅 正門を經由し徒歩約7分



## 参加者へのご案内

### 1. 受付

受付は9時30分から開始します。けやき会館は8時30分に開館しますので、お早めに到着された方はエントランスにてお待ちください。

受付にて参加証をお受け取りください。本会中は場所時間にかかわらず常にご着用ください。

### 2. 当日参加登録

受付にて所定の申込用紙に記入の上、参加費をお支払いください。なお、当日登録の場合、事前登録と参加費が異なりますのでご注意ください。

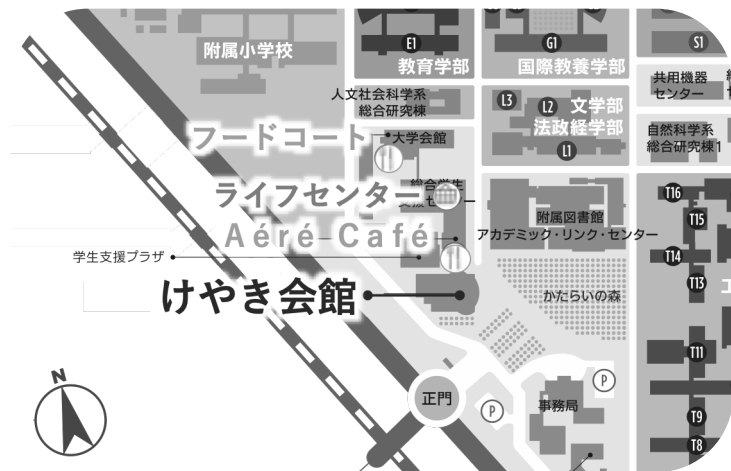
	薬学会員	学生会員/学生非会員	非会員
当日登録	4,000 円	0 円	5,000 円

### 3. 昼食、飲食場所

けやき会館内での飲食はできません。

昼食は、フードコート（学生食堂）、Aéré Caféをご利用いただくか、ライフセンター（生協）にて弁当や焼きたてパン等の購入が可能です。晴れ・曇りの場合は、かたらいの森や学生支援プラザ前のベンチなどもご利用ください。

また、昼食は近隣の飲食店でも可能です。ゴミは必ずお持ち帰りいただくか指定の場所に捨てていただきますよう、ご協力をお願いいたします。



### 4. クロークについて

会場内にクローク、コインロッカーなどをご用意しておりませんので、お手荷物は各自管理をお願いいたします。

### 5. 喫煙について

けやき会館を含め千葉大学構内は、禁煙ですのでご協力をお願いいたします。

## プログラム

- 開場 8:30
- 受付開始（エントランスホール） 9:30 -

### 午前の部

- 開会挨拶 10:00 -  
実行委員長 川島 博人（千葉大院・薬・免疫微生物学）
- 一般演題 ①  
座長 板部 洋之（昭和大・薬・生物化学）  
築地 信（星薬科大・薬・微生物学）

#### 1. 10:05 -

##### 活性化マウス制御性 T 細胞の糖鎖マーカー・シアリルルイス X の同定

- 大石かなえ、石倉晨規、西田匠吾、安保博仁、中司寛子、川島博人  
（千葉大院・薬・免疫微生物学）

#### 2. 10:15 -

##### ホスホリパーゼ A1 DDHD1 のアフィニティプローブによる検出とリン酸化による細胞内局在の解析

- 結城桜<sup>1</sup>、菅野愛奈<sup>1</sup>、森田祐基<sup>1</sup>、山本滉大<sup>1</sup>、松本直樹<sup>1</sup>、佐々木洋子<sup>1</sup>、岡沙織<sup>1</sup>、荒井齊祐<sup>2</sup>、和田郁夫<sup>2</sup>、山下 純<sup>1</sup>  
（<sup>1</sup>帝京大・薬、<sup>2</sup>福島医大生体情報研）

#### 3. 10:25 -

##### ヘパラーゼによる結腸癌細胞の NF- $\kappa$ B シグナル伝達経路の活性化

- 史 佳<sup>1</sup>、高橋勝彦<sup>1</sup>、奥 輝明<sup>1</sup>、中島元夫<sup>2</sup>、入村達郎<sup>3</sup>、東 伸昭<sup>1</sup>  
（<sup>1</sup>星薬大、<sup>2</sup>SBI ファーマ、<sup>3</sup>順天堂大医）

#### 4. 10:35 -

##### ヒト乳がん細胞 MDA-MB-231 に対するモノクローナル抗体を用いた抗体依存性細胞貪食活性の解析

- 小林 莉子、里 史明、築地 信、加藤 良規、奥 輝明  
（星薬大・薬）

- 休憩 10:45 - 11:00

● 一般演題 ②

座長 加藤 尚志（早稲田大院・先進理工・生命理工、早稲田大・教育・生物）  
山下 純（帝京大・薬・生物化学）

5. 11:00 -

**好中球細胞外トラップ形成へのステロール類の影響**

○渡邊 雄一、小濱 孝士、牧山 智彦、板部 洋之  
（昭和大・薬・生物化学）

6. 11:15 -

**膜小胞を利用した細胞の膜リン脂質に結合した脂肪酸組成の推測**

○石橋賢一、田中佑果、串田里菜、大北亮、厚味巖一  
（帝京大学・薬・病態生理学）

7. 11:30 -

**がん発症における一次繊毛の役割の解明**

○斎藤 将樹、石橋 賢一、厚味 巖一  
（帝京大・薬・病態生理学）

8. 11:45 -

**SARS-CoV-2 に対する抗体の可変部遺伝子レパトア解析**

○築地 信、森 咲也香、大草 日向子、藤原 伸一  
（星薬科大学・薬・微生物学研究室）

休憩（昼食） 12:00 - 13:30

## 午後の部

- シンポジウム「血液細胞の生体内ダイナミクスの理解と創薬への展望」

座長 厚味 巖一（帝京大・薬・病態生理学）

東 伸昭（星薬科大・生化学）

S1 13:30 -

**栄養シグナルによるリンパ球の腸-骨髄連関の制御**

長谷 耕二（慶應大学・薬・生化学）

S2 14:00 -

**制御性単球による免疫制御**

田中 正人（東京薬科大学・生命・免疫制御学）

S3 14:30 -

**アレルギーを司るマスト細胞の多様性の理解と創薬への展望**

倉島 洋介（千葉大院・医・イノベーション医学研究領域、シナジー拠点・粘膜炎疾患制御学研究室）

S4 15:00 -

**免疫関連疾患治療効果を示す抗糖鎖モノクローナル抗体の開発**

川島 博人（千葉大院・薬・免疫微生物学）

休憩 15:30 - 15:50

- 特別講演

座長 川島 博人（千葉大院・薬・免疫微生物学）

SL 15:50 -

**糖鎖が関わる細胞ダイナミクスと疾患**

入村 達郎（順天堂大学医学部・糖鎖創薬研究室）

- 閉会の辞 16:40 -

実行委員長 川島 博人（千葉大院・薬・免疫微生物学）